

明治安田生命が 実現 していくこと

SDGs達成への貢献

SDGsにおける17のゴール、およびこれらに内包される169のターゲットから導き出される社会課題のうち、当社の「ステークホルダーへの影響度」「事業との関連性」の観点から、15項目を「優先課題(マテリアリティ)」に設定し、その解決に貢献する取組みを推進しています



事業活動を通じて SDGsの達成に貢献します

「お客さま」「地域社会」「働く仲間」をはじめとするステークホルダーとの共通価値を創造するとともに、その価値を「未来世代」に引きつぐことを通じて、持続可能で希望に満ちた豊かな社会づくりに貢献します



▶ 特に注力する優先課題

健康寿命の延伸

3 すべての人に健康と福祉を

地方創生の推進

11 住み続けられるまちづくりを

▶ さらなる取組みが必要な優先課題

「環境保全・気候変動への対応」を「さらなる取組みが必要な優先課題」と設定し、事業者および機関投資家双方の立場から取組みを強化します

環境保全・気候変動への対応

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

▶ その他の優先課題

- | | | |
|-----------------------|-----------------------|--------------------|
| ● 金融包摂(金融アクセスの確保等) | ● イノベーション、調査・研究・開発の推進 | ● 人権の尊重・推進 |
| ● こどもの健全育成、伝統芸能・技術の継承 | ● 雇用機会の創出 | ● ガバナンス強化と経営の透明性確保 |
| ● 健康・金融リテラシーの向上 | ● ダイバーシティの推進 | ● コンプライアンスの推進 |
| ● 多様な保険商品・サービスの提供 | ● 働き方改革の推進 | ● 防犯・防災対策の整備 |

株式会社SDGインパクトジャパン(SIJ社)との資本・業務提携について

SIJ社と協力し、当社のサステナビリティ経営の推進と、機関投資家としての責任投資の取組みをいっそう強化していきます

【業務提携の主な内容】

- 革新的なESGファンドの共同組成・投資
- 地域社会への貢献に資する取組みの共同研究 等



(左から) SIJ社 会長/谷家 衛氏
明治安田生命 取締役代表執行役社長/永島 英器
SIJ社 共同代表取締役/小木曾 麻里氏